

Making Architecture Together

—環境と人間

JIA建築セミナー2018

建築は環境と人間をつなぐものです。

人間を取り巻いている環境は、組織、社会、地球という共同体であるなら、建築を考えると同時に、常に人間の周りを取り囲む自然環境や共同体のあり方も考えていきたいと思っています。そのためには、連続的な視点の移動が必要です。すなわち外側から内側を俯瞰することが大切だと思っています。自然を見るには地球という視点から、私を見るには組織から自分を見つめ、組織を見るには社会から、社会を見るには世界を俯瞰することが必要です。

視点を変えるにはどうすれば良いでしょうか。それは自ら積極的に共同体を脱出し、自分が異邦人となりつつ、他者を共同体に取り入れることが考えられます。

そこで起きる感情とはストレスでもあり、楽しさでもあります。人類の圧倒的クリエイションである進化は、そのような「ワクワクドキドキ」によって、新しい環境を構築してきた人類の歴史でもあります。

今年度の建築セミナーは、過去と現在と未来を通して、環境と人間を考えたいと思います。一年を通じた他者との対話、視点の変化は、既存の共同体を俯瞰する視点の獲得であり、魅力的な環境をつくる最良の方法となるでしょう。

Making Architecture Together
共に建築を作りましょう。

実行委員長 小堀哲夫 [小堀哲夫建築設計事務所]

実行委員 いしまるあきこ [いしまるあきこ一級建築士事務所]

今村水紀 [miCo] / 大林敬幸 [三菱地所設計]

奥村俊慈 [ケミカルデザイン] / 勝矢武之 [日建設計]

須川真紀子 [須川ラボ建築設計] / 塚田修大 [塚田修大建築設計]

早川慶太 [早川建築計画] / 前田道雄 [アーキプロ]

三浦洋介 [久米設計]

<http://www.jia.or.jp/kanto/seminar/index.htm>

小堀哲夫 Tetsuo KOBORI

1971 岐阜県生まれ

1997 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了

1997 久米設計入所

2008 小堀哲夫建築設計事務所設立

ROKIグローバル・イノベーションセンターでJIA日本建築大賞、

日本建築学会賞(作品)、ほか受賞歴多数

JIA建築セミナー趣意書

人の生きる環境の形を決める建築家は、常にその社会的責任に対する意識を新たにし、技量の継続的向上に努めなければなりません。建築家とは、「なる」ものではなく、むしろ「なり続ける」努力によって成立する職能なのです。

私たち、日本建築家協会の使命の一つは、会員相互の交流と切磋琢磨をつうじて、こうした自己研鑽の機会を広げることにあります。そうした機会は、会員にはもちろんのこと、未だ会員になっていない若い方々に対しても開かれなければなりません。

現在の日本の建築教育はほとんど大学に任されており、また、その期間が限られているためあって、建

築家としての意識と見識を養うためには、甚だ不十分な域にとどまっています。そして、そこに学んだ若者が卒業して一旦社会に出ると、自己研鑽を積み続ける機会に恵まれないのが通例です。

そうした状況に鑑み、私たちは会員及び会を支援して下さる各界の知的リーダーたちの蓄積を、建築家への道を歩み始めた若い方々に受け渡し、建築家に「なり続ける」機会の一つを提供するために「JIA建築セミナー」を開設しました。

このセミナーは、1978年以降の歴史を誇っております。41年目にあたる2018年度も、長年の間に培われた良き伝統を受け継ぎつつも、時代の状況に応じた新風を織り込んでセミナーが開催されますので、一層のご理解とご鞭撻をお願いいたします。

JIA建築セミナー2018 | スケジュール | 2018年7月3日-2019年3月(予定)

開講 | Making Architecture Together

01 7月17日[火]19:00- | 小堀哲夫 [建築家、小堀哲夫建築設計事務所]

PROJECT 1 夏休み! 藤野、行こう—アートの町が、持続可能な今どきの町に

相模原市日藤野町。戦時中に疎開画家が移り住み、その後多くの芸術家が住むアートの町とされています。その町に近年は自然志向が高い人、新しい暮らし方を模索する人が移住し、持続可能なまちづくりが盛んに行われています。持続可能な暮らしの場のデザインを実践している、藤野在住の建築家、山田貴宏さんをお迎えして藤野を案内していただこうと思います。夏休み! 家族連れの参加も可能です。美しい里山風景を楽しみましょう。

02 7月3日[火]19:00- | 講義 | 環境建築の向こうへ—バーマカルチャーから考える住まい像 | 山田貴宏 [建築家、ピオフォルム環境デザイン室] + 設楽清和 [バーマカルチャーセンタージャパン事務局長]

03 8月4日[土] | 見学 | 里山長屋 (JIA環境建築優秀賞作品)、バーマカルチャー・コミュニティーガーデンなど

PROJECT 2 設計者と話題の新建築を巡る

低成長時代を迎え、富山県美術館は新たにインベーションし、話題に。高岡市のものづくり企業、能作社は企業そのものを観光に。福井県のNICCAインベーションセンターは企業の知恵と技術をグローバルなバザールの場に。建築のコンセプトは未来を見据え、変化している。今回は、設計者と共に見学し、これからの建築の在り様を語り合います。

04 8月21日[火]19:00- | 講義 | ものづくり企業を観光に。能作社 | 広谷純弘 [建築家、アーキビジョン広谷スタジオ]

05 06 8月25日[土]-26日[日]1泊2日 | 見学 | 内藤廣と巡る新たな富山県美術館 (内藤廣設計) | 小堀哲夫と巡るNICCAインベーションセンター (小堀哲夫設計)、ほか企画中

PROJECT 3 日本の名数寄屋建築に迫る。使える茶室の作り方

日本の名建築、男手の書体の「月」の引手が付く桂離宮の価値を見出し、日本の数寄屋建築をよく愛した建築家、堀口捨己が、同様に朽ちた女手の書体の「月」の引手が付く恵観山荘 (国指定重要文化財) を発見し、復元しました。日本文化の写し、連歌に通じる日本の建築手法を理解し、至福の空間を堪能します。そして、ほんとうに使える、もてなしの茶室空間の作り方を学びます。

07 9月1日[土]10:00- | 見学 | 恵観山荘 | 松本裕介 [建築歴史家]

08 9月8日[土]13:00- | 講義 | ほんとうに使える茶室を造る | 淡交社茶室「慶交庵」にて | 竹中勲 [淡交社建築部]

PROJECT 4 NEXT LANDSCAPE

新たな緑の景観をコミュニティと共に造る、ランドスケープの達人たちを紹介します。ひとつは、建築を巻き込み、緑を介したコミュニティ形成とまちづくりを考えるきっかけを造るコミュニティガーデン一連。もうひとつは、ワークショップ形式で陸前高田の復興まちおこしを行ったランドスケープアーキテクト、NICCA等のランドスケープも担当し、さまざまな仕事をこなし、話は尽きません。

09 9月19日[水]19:00- | 講義 | まち+庭+デザイン+コミュニティ | 大滝暢子 [ガーデンデザイナー、GardenStudio 小手礎]

10 9月22日[土]午前中 | 見学・体験 | 東北のガレキの山を花畑に替え、今また豊洲の埋立地を小学生の力を借りて花園に | NPOグリーンワークス [園芸家グループ]

11 9月26日[水]19:00- | 講義 | 新しいランドスケープ、NICCAインベーションセンターを含めて | 石井秀幸 [スタジオテラ]

PROJECT 5 昭和の名建築を維持するために

名建築に住む人、支える人のインタビュー『幸せな名建築たち』(日本建築学会編、丸善出版)が2018年初夏に発売されます。その中には1966年竣工のバレスサイドビル(林昌二設計)と目黒区総合庁舎(村野藤吾設計)も登場します。多くの人々に使われながら美しい姿を保つ裏には、名建築を維持する人々の絶え間ない努力があるのです。普段見ることができない場所の見学と解説を通じて、長く生き続けられる名建築を生み出すヒントを得ます。

12 10月13日[土]13:00- | 見学+質疑 | 目黒区総合庁舎(1966年、村野藤吾設計)

13 10月20日[土]13:00- | 見学+質疑 | バレスサイドビル(1966年、林昌二/日建設計)

PROJECT 6 新たな世界を切り開く学びの場

近年の変化の激しい社会に対応して、子供たちの学び方は変化しつつあり、地域社会との関わり、国際的な人材育成など、学校は様々な進化が期待されています。このプロジェクトでは先進的な学校建築の歩みと最新の作品に触れ、教育の現場に建築家が果たして来た役割を学び、ひとりひとりの子供達の成長に寄り添いながら、こうした社会環境の変化に私たちがどう向き合っていくことができるかを見学し、長年教育施設の設計に携わってこられた建築家赤松佳珠子氏によるレクチャーを通して考えます。

14 11月9日[金]15:00- | 見学 (人数10名まで) | インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 ISAK (鈴木エドワード建築設計事務所、CAI設計ほか)

15 16 11月22日[木](調整中) | 講義 | 学校建築とアクティビティ | 赤松佳珠子 [CAIパートナー、法政大学教授] | 見学 | 流山市立おおたかの森小中学校 (2016年日本建築学会賞、CAI設計)

PROJECT 7 まもなく半世紀、建築家はいま。1970年代から現在と未来を考える

近代建築は国民国家スケールの公共性と結び付いていました。それが揺すぶられ、解かれて、建築とは何なのかを問い直さなければならなくなったのが1970年前後です。この頃に産声をあげた建築家たちは、いわば荒地に放り出されたのです。

彼らはそこそこに新しい開墾地を見つけ、手触りのある果実を求めました。私性、無名性、土着性、地域性、コミュニティ、参加、インフォーマルなもの、手仕事や生産組織などなど。大きな公共性にかわる、小さな開墾地。それらは近代建築に対する異議申し立ての根拠地として言挙げされました。近代建築がある特殊な時代の産物だったらしいことは、あれから半世紀たった今だから見えることです。

開墾の果実がバブル・エコノミーに吸い上げられた後、90年代以降の長い不況のなかで再開された荒地の開墾が、70年代帰郷の相貌を帯びるのはおそらく必然であったでしょう。しかし、それが70年代とそっくり同じであるはずはありません。では、何が同じで、何が違うのでしょうか。そこから現代と未来を展望する開拓の見取り図を描けないでしょうか。(モデレーター:青井哲人)

青井哲人氏をモデレーターに建築評論家の布野修司氏と建築家の吉村靖孝氏、仲俊治氏、能作文徳氏を迎え、1970年代と現代建築の共通点を考え、未来を思考します。

17 12月1日[土] | 見学 | 1970年代の建築を観る | ブーライエ (1973年、鯨井勇設計)、水無瀬の町家 (1970年、坂本一成設計) ほか

18 12月15日[土] | オープニングトーク | 70年代のわたし、建築家たちの70年代(仮) | 布野修司 [建築計画・建築評論、日本大学特任教授] + 間さき: 青井哲人 [建築史家、明治大学教授] | 座談会 | 1970年代から現代と未来を考える(仮) | 布野修司 + 吉村靖孝 [建築家、吉村靖孝建築設計事務所、早稲田大学教授] + 仲俊治 [建築家、仲俊建築設計スタジオ] + 能作文徳 [建築家、能作文徳アーキテクト、東京電機大学准教授] + モデレーター: 青井哲人

PROJECT 8 あたらしい認識とモノの関係

コンピューターによって、より複雑で大量のデータが扱えるようになることで、世界の捉え方やモノのつくりかたが変化する一方、建築の表記・伝達・建設の仕組みはこれまでの枠組みから、まだ変わり始める端緒についたばかりといえるでしょう。

新たな表記方法を創造し、住宅やインスタレーションなど様々な空間を実現させている市川創太氏と、コンピューター・シリアルデザインとデジタル・アプリケーションをつなげて、新しいカタチのつくりかたを探索しているアンズスタジオに、これからの建築と建設の可能性についてうかがいます。

19 2019年1月(日程調整中) | エンジニアリングとしてのデザイン | 市川創太 [建築家、ダブルネガティブ・アーキテクト] 主宰、都市研究室hclub]

20 2019年1月(日程調整中) | ロボット・コンストラクション | 竹中司 + 岡部文 [アンズスタジオ]

PROJECT 9 ラグジュアリーなホテルを造るためには

オリンピックに向けて、現在日本はホテルの開発、建設ラッシュ。そんな中、ホテルにおける過ごし方が変わってきています。働き方がかわり、休み方がかわりつつある今、ホテルを造るためにはどのようなことが求められるのか。ラグジュアリーをキーワードに「パワー・建築、アマン・ジャンキー」たるものを生み出すアマン・リゾート等から、今とこれからのラグジュアリーなホテルについて考えます。

21 2019年2月(日程調整中) | 講義 | 私のお気に入り、ジェフリー・パウアーのホテル | 阿部勤 [建築家、アルテック] | ラグジュアリーを演出するために(仮) | 小野由記子 [インテリアデザイナー、小野意匠計画] + マナトレーディング(株) | 最近のホテル建築(仮) | 大成建設ホテル企画・設計者(依頼中) | 座談会 | ラグジュアリーなホテルを造るためには

22 2019年2月、4泊6日程度 | ホテルアマンのルーツを巡る | スリランカのホテル巡り (実費参加)

JIA建築セミナー2018 | 募集案内 | 2018年7月3日-2019年3月(予定)開催 CPD申請中

定員 40名

受講資格 当セミナーに興味のある方、若手設計者ほか

講習期間 2018年7月3日-2019年3月(予定)

見学会等の集合場所・時間ほかは、追ってお知らせします。

会場 JIA館(原則)

住所: 東京都渋谷区神宮前2-3-18 | TEL: 03-3408-8291

交通: 地下鉄銀座線外苑前駅 徒歩8分/JR千駄ヶ谷駅 徒歩10分/JR原宿駅 徒歩12分

受講料 一括払い: 140,000円(納納、ご福袋承ります)

見学・宿泊等の交通費、食費等は実費となります。見学以外の講座では、原則、講師と受講生との交流のために各回1コイン(500円)の懇親会を開催しています。お時間の許

す方は、ご参加下さい。

申込方法 受講希望者は氏名・住所・連絡先(TEL/FAX/E-mail)を明記し、事務局までFAXか、郵送にてお申込下さい。追って、ご連絡いたします。

なお、都合により変更になる講座もありますので、予めご承知置き下さい。

主催 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部

企画運営 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA建築セミナー実行委員会

JIA建築セミナー事務局(担当:佐藤由巳子)

申込・問合せ先 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA建築セミナー事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4階

TEL: 03-3408-8291 | FAX: 03-3408-8294